

グルジア政治・経済 主な出来事

【2013年7月8日～7月14日】

[当地報道をもとに作成]

平成25年7月22日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼フロポニン露副首相・北コーカサス連邦管区大統領全権代表がアブハジアを訪問(9日)

・アークワブ「大統領」と会談。アブハジア「財務省」と露地域開発省が、2013年から2015年までの財政支援計画や投資プログラムについての合意文書に署名。

▼グルジア沿岸警備隊がアブハジアからトルコに向かっていた貨物船3隻を拿捕(10日)

・アブハジア「政府」によれば、3隻の貨物船はタンザニア国旗を掲げ、オチャムチレからトルコ・バルトゥン港へ向かっていた。

・グルジア国境警察の発表によれば、トルコ人4名、エジプト人4名、シリア人2名の乗組員が「被占領地域への不法侵入」によって拘束された。

・11日、ポティ市裁判所は5万ラリの保釈金によりトルコ人船長の保釈を決定。

・アブハジア「政府」によれば、過去6カ月でアブハジアとトルコを行き来する船がグルジア警察に拿捕されるのは3度目。

【南オセチア】

▼南オセチア「安全保障会議」と露連邦安全保障会議の協力に関する覚書(4日)

・プリエフ南オセチア「安全保障会議」議長とパトルシエフ露安全保障会議議長がモスクワにて署名。

2. 外 政

▼トビリシで行なわれたディナモ・トビリシとディナモ・モスクワの親善試合をガヴリロフ露国家院議員(共産党)が観戦(7日)

・親善試合が1対1で終了した後、スタジアムの周囲で露国家院議員の観戦に抗議するデモを行っていた活動家3名を警察が「フーリガン行為」および「警察の命令に対する不服従」により逮捕。3名は翌8日に釈放された。

・8日、サーカシヴィリ大統領は3名の逮捕の際に過度な力を行使したとして警察を批判。「サ」大統領は、「スポーツ選手や観光客がグルジアを訪れるのは歓迎するが、グルジアの敵を国内に入れるのは別だ。グルジアの分裂に賛成した国家院のすべての議員はグルジアの敵である」「敵を入国させた国境警察、内務省、内務大臣を強く批判する」と述べた。

・ガヴリロフ議員はロシアVTB銀行の株主顧問委員会の

メンバー。VTBはディナモ・モスクワを所有しており、ディナモ・トビリシのスポンサーになることを交渉中。

▼アバシゼ対露関係特別代表とカラーシン外務次官が電話会談(8日)

・航空便の再開やロシア人の観光客がグルジアに入国する際の問題などについて検討。

▼大統領選挙の監視団の派遣を呼びかけ(10日)

・ザルカリアニ外務次官によれば、10月の大統領選挙に向けた監視団派遣に関する公式の招待状がOSCEおよびOSCE民主制度・人権事務所(ODIHR)、欧州評議会、GUAM、欧州評議会議員会議、NATOに送られた。

・10日、イヴァニシヴィリ首相は国際機関に向けて「選挙監視のプロセスにできる限り多くの監視員を関与させる」ことを呼びかけた。

▼ガリバシヴィリ内務大臣がオーストリアを訪問(10日-11日)

・オーストリアの外務大臣と、不法滞在者の再入国に関する合意の実施に関する文書に署名。

・ザニエルOSCE事務総長と会談。被占領地域の人権状況などについて話す。

▼フューレ欧州委員(拡大・近隣政策担当)がグルジアを訪問(9日、11日-12日)

・9日、サーカシヴィリ大統領と会談。会談後の共同記者会見で、政治勢力の「建設的な共存」の重要性を強調。「サ」大統領は、11月にヴィリニウスで予定されているEUの東方パートナーシップ首脳会議について「大統領として出席する最後の首脳会議になる」と発言。

・11日、バトゥミでイヴァニシヴィリ首相と会談。会談後、「我々はともにヴィリニウスの首脳会議でグルジアとEUのあいだの統合協定に向けた協議を開始することを望んでいる」と述べた。

・11日、ウスパシヴィリ国会議長とも会談。

▼バトゥミで国際会議「グルジアの欧州への道」が開催される(11日-12日)

・10回目の会議。現政権でははじめての開催。テーマは「EUの東方パートナー諸国-ヴィリニウス首脳会議に向けて」。

・フューレ欧州委員およびブルガリア、エストニア、スロヴァキアの外務大臣が参加。グルジア政府からはイヴァニシヴィリ首相はじめ多くの大臣が出席。

▼サーカシヴィリ大統領がモルドヴァを訪問(11日)

・欧州人民党(EPP)リーダーの第3回東方パートナーシップ首脳会議に参加。統一国民運動(UNM)は2008年以降EPPのオブザーバーメンバー。

・ティモフティ・モルドヴァ大統領と会談。

▼グルジアとバヌアツが外交関係を樹立(12日)

・国連本部にて両国代表者が議定書に署名。議定書は「バヌアツはアブハジア自治共和国と南オセチアを含む、国際的に承認された国境内のグルジアの領土一体性を認める」としている。

・バヌアツは2011年5月にアブハジアを承認したが、一方で2011年6月にグルジアが提出したアブハジア・南オセチアからの避難民に関する国連総会決議には賛成していた。2013年3月にはバヌアツ外務省がアブハジアとの外交関係を否定。

・グルジア外務省は「バヌアツの決定が、国際法の基本原則に反して占領下のグルジアの領土を承認している太平洋諸国の模範となることを期待している」との声明を発表。ロシアの他にニカラグア、ベネズエラ、ナウル、ツバルがアブハジアを承認している。

▼ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣がモンテネグロを訪問(12日)

・ルクシッチ・モンテネグロ外務・欧州統合大臣と会談。両国外務省の協力に関する議定書に署名。

・モンテネグロの持続的発展・観光大臣と観光分野での協力に関する合意文書に署名。

3. 内 政

▼UNMが国会活動に復帰(8日)

・トビリシ市役所職員4名の逮捕に抗議して6月28日以降国会活動をボイコットしていたUNMが、8日、国会活動に復帰することを決定。

▼ベドゥカゼ氏の刑事責任免除をめぐりイヴァニシヴィリ首相が主任検察官を批判(8日)

・2012年10月の議会選挙前に映像が公開された受刑者虐待の件で、6月14日、トビリシ市裁判所は起訴された刑務所元職員17名のうち16名の有罪を認め、映像を密かに撮影して持ち出したベドゥカゼ氏の刑事責任免除に関するクビラシヴィリ主任検察官の申し立てを承認。

・8日、イヴァニシヴィリ首相は虐待にも加わっていた「ベ」氏の刑事責任免除について主任検察官を批判。

・「ク」主任検察官が映像が最初に持ち出されたのが2011年9月であったと明らかにしたことについて、サーカシヴィリ大統領は映像が政治的に利用されたとコメント。政府に対し主任検察官の解任を要求。

▼春季国会の成果(9日)

・ウスパシヴィリ国会議長によれば、6月28日に閉会した春季国会では137の法案が承認され、国会は大統領が拒否権を発動した8つの法案を再承認した。公式訪問が70回実施され、500件以上の決議を採択。

・7月10日に臨時国会が始まった。臨時国会では「被占領地域に関する法律」の改正案、教育法改正案などが審議される予定。

▼トビリシ市裁判所がグナヴァ・サメグレロ地方知事に有罪判決を下す(12日)

・グナヴァ氏が内務省調査局長であった2012年に3000リットルのガソリンと49,500ラリを流用したとして、4年の禁錮刑を宣告。

・2012年11月に逮捕された後、保釈金を払って保釈されていた。2013年1月にサーカシヴィリ大統領がグナヴァ氏をサメグレロ地方知事に任命。

▼ギオルギ・タルガマゼ「キリスト教民主運動党」(CDM)党首が大統領選挙への出馬を表明(12日)

・CDMは2008年に結成されたが、2012年10月の議会選挙では5%の法定得票率を越えることができなかった。

・大統領選挙の立候補者の登録の期限は9月7日。

▼大統領が署名を拒否した2つの法案を国会が再承認(12日)

・放送法改正案について、サーカシヴィリ大統領は国会に公共放送局の評議員会を解散する権利を与えることに反対していた。

・再承認されたもう一つの法案は、国家エネルギー・水供給調整委員会の委員長および委員の指名者を大統領から首相に変更するもの。「サ」大統領は発効を自らの任期後にするよう求めている。

▼国会が教育法改正案の第二読を承認(12日)

・各大学やUNMのみならず与党連合「グルジアの夢」(GD)の議員の一部も反対していた、任期途中で学長が辞任した場合に「首相が学長代理を指名する」という条文を削除。

4. 経 済

▼鉱泉水の採水料を3倍にする法改正案を国会が承認(10日)

・1m³あたりの採水料が、ボルジョミは10ラリから30ラリに、ナベグラヴィは6ラリから18ラリに引き上げられる。2012年の採水料からの国庫への歳入は222万ラリ。

▼EUがグルジアに1600万ユーロを拠出(11日)

・フューレ欧州委員とペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣がバトゥミで合意文書に署名。

・「東方パートナーシップ統合・協力プログラム」(EaPIC)の枠内で、グルジアの国境と人の移動の管理能力を高めるための支援。同プログラムでグルジアは2012年にEUから2200万ユーロの支援を受けている。

▼「Center Point Group」社の所有者姉妹が詐欺・横領により逮捕(11日)

・同社は2000年代にグルジア最大の不動産開発企業の一つであった。株式を50%ずつ所有するルチェウリシヴィリ氏とケルヴァリシヴィリ氏の姉妹が、6000人以上の出資者から集めた資金から約1100万ラリを横領したとして逮捕。「ル」氏の夫と「ケ」氏は元国会議員。